

観光建設水道委員会
所管事務調査 会議録

令和7年12月8日

観光建設水道委員会 会議録

○開会日時 令和7年12月8日（火）

開議 午前11時37分

閉議 午前11時55分

○開会場所 市議会 第2委員会室

○出席委員（9名）

委員長 阿部 真一 副委員長 松川 章三

委員 塩手 悠太 委員 森 裕二

委員 小野 佳子 委員 森山 義治

委員 吉富 英三郎 委員 野口 哲男

委員 泉 武弘

○欠席委員（なし）

○委員外議員出席者（1名）

議員 日名 子敦子

○執行部出席者（3名）

観光・産業部長 日置 伸夫 産業政策課長 市原 祐一

産業政策課参事 小野 茂行

○議会事務局出席者

主任 定宗隆一郎 主事 今留 蓮

○調査事項

べっぷみんなにお米配布事業について

○調査目的

同委員会が所管する事務のうち、べっぷみんなにお米配布事業における現状や課題等について調査することを目的とする。

○会議録 別紙のとおり

以上のとおり、本顛末に相違ないことを証明し、ここに記名押印する。

令和7年12月8日

観光建設水道委員会
委員長 阿部 真一

○開議：11時37分

○阿部委員長

それでは、所管事務調査を行います。

本日の調査事項は、べっぴんみなにお米配布事業についてであります。

本事業の所管事務調査を行うことになったいきさつを私から御説明しますと、昨今の国会でも、昨年度の3倍近い物価高騰対策に関する予算が成立する見込みとなっております。今後、地方にも、多くの交付金としての予算が配分される見込みとなっております。

その上で、別府市は令和7年度の事業において、当委員会所管の産業政策課のべっぴんみなにお米配布事業を行っているということで現状と課題、今後配分されるであろう交付金の在り方については各委員のお考えもあるかと思えます。それを参考にしていただきたいという観点から、今回、所管事務調査を行う次第でございます。

早速ですが、当事業につきまして、まず当局から御説明していただきたいと思えます。

○日置観光・産業部長

かねてから、米価格の高騰や物価高騰の影響を受けております市民生活を支援するため、国からの交付金を活用し、べっぴんみなにお米配布事業を実施しているところでございます。

市民の皆様からも、おおむね好評頂いております、事業として一定の成果があったものと考えているところでございます。

本事業の内容につきまして、産業政策課長から説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○市原産業政策課長

それでは、産業政策課が所管しておりますべっぴんみなにお米配布事業について、説明をさせていただきます。

委員長、説明に当たり資料を提示したいので許可を求めます。

○阿部委員長

許可します。

○市原産業政策課長

それでは、資料のご確認をお願いいたします。資料は2枚でございます。

1枚目がべっぴんみなにお米配布事業の概要でございます。もう1枚目が、引換えの集計表になっておりますのでよろしくお願いいたします。

今回の事業ですが、2段階に分けて実施しております。まず第1弾としまして、18歳以下のお子様のいる子育て世帯を対象に、7月31日から8月23日かけて、延べ5回にわたり、11か所で11日間、お米3キログラムの現物を配布いたしております。

実績といたしましては、対象8,825世帯の86%、7,577世帯の皆様にお配りをいたしました。受け取りのなかったお米につきましては、今回の事業の趣旨であります、子育て世帯の方におなかいっぱいお米を食べてほしいという趣旨から、子ども、特に困窮世帯を対象に再配布いたしております。主な配布先は、下段に書かれておりますけども、フードドライブ、ひとり親家庭向け定期便、児童福祉施設、子ども食堂、学校給食センターとなっております。

次に、第2弾といたしまして、第1弾の対象世帯を除く5万4,224世帯を対象に、10月上旬から10月中旬にかけて、対象世帯の世帯主の年齢の高い方から順番に、お米券引換券を郵送し、10月1日から11月30日まで、トキハ別府店や市役所の各出張所において、全国共通お米券の引換えを行いました。実績といたしましては、4万4,866世帯の皆様へ配布し、引換え率は83%となっております。

少しでも多くの方にお渡しするため、現在も引換え期間を延長しており、市役所の産業政策課で引換えを行っているところでございます。

次に、集計表を御覧ください。

まず、上段が現物支給についての内容となっております。

第1回から予備日まで、計5回に分けて、7月31日から8月23日までの間に配布いたしまし

た。各小学校及び幼稚園、地区公民館等を利用して配布いたしております。総引換え数は先ほども申しましたが、7,577世帯、86%の引換え率になっております。

下段がお米券の配布の実績になります。10月の1日から11月30日にかけて配布をいたしました。引換え数につきましては会場別に記載しておりますけれども、トキハが3万1,122世帯、各出張所につきましては、記載のとおりでございます。

その引換え数が4万4,846世帯で、引換え率が83%になっております。

説明は以上でございます。

調査のほどよろしく願いいたします。

○阿部委員長

ありがとうございます。

まず、当委員会での調査の観点につきましては、今後、物価高騰対策として本市に交付されるであろう交付金等に関して、報道されていますようなお米券の配布が前提ではございません。本事業の内容は、先んじて別府市が行っているという部分もあり、調査研究してはどうかと言った声もありまして、調査を行っている次第でございます。その観点から、事業についての説明と、今後もしお米配布事業をやる、やらない別にしても、各委員からご意見がございましたら、御発言をお願いしたいと思います。

○塩手委員

2点ございまして、お米の現物支給について、受け取りがなかったお米の活用方法ということで、例を挙げていただいて、100%お米を無駄なく活用できたということは理解できるんですが、お米券の引換え券っていうところで、83%というふうになってますが、これ仮に、余った場合のお米券の活用方法というのは、どういうふうに考えているか。というのも、今後、お米券をもう1回配布するのか、商品券にするのかということも踏まえて、商品券等にしたときの未利用というところについては、余った部分はどういうふうに活用していかないといけないのかっていう調査という観点でお聞きしたいというのが1点目。

それからもう1点、トキハ別府店に今回委託してありますが、今後、引換え券をやる、やらない別にしても、またどこかのお店、民間の施設を使って引換え等をするという際の材料として、今回トキハに対して大体どれぐらい委託料を支払ったのかっていうところの、2点を教えていただけますか。

○市原産業政策課長

まず1点目の残った券の活用方法なんですけれども、今月の終わりまで引換えを延長しておりますので、枚数の確定はしてないんですけれども、目安でいくと7,000世帯の方は取りに来ておりませんから、大体1世帯当たり6枚配っていますので、1枚当たり440円とすると、1,800万円ぐらい券が残るというふうな計算になっております。

最終的には残った枚数が確定したところ、改めて活用方法については検討していきたいというふうには考えておりますが、この券は現物ではなく特に賞味期限等もありませんので、場合によっては購入先にまた買戻していただくとかそういうものも含めながら検討していきたいというふうに考えております。

2点目につきましては、トキハ別府店に対しての委託料なんですけれども、ちょっと進行中で、最終的な金額が特に固まってないところもありますけれども、お米券自体についても1世帯当たり2,640円の5万2,000世帯分を、トキハに1回購入していただいているので、そういう部分を含めると、まだ最終的に固まっておられませんけれども、金額的には、1億6,000万円ぐらいになるだろうというふうには考えております。

○泉委員

先ほど、部長から大変好評を頂いているというお話がありましたね。

それは確かに米を受け取った皆さんをそうかもしれないけれども、問題は配布場所と受け取る人数の関係なんですね。

高齢者の皆さんからこういう電話があったんです。お米をもらうためにタクシー代をかなり払って、受け取りに行かなきゃいけない。これでは配布そのものの意味が薄れてしまうんじゃないかという御意見が私のところにはたくさん寄せられました。

この点についてどういうふうに考えてるのか、それからもう既に、お米券というのは、もう既に配布されてるんですね。それで、受け取りに来なかった残の取扱い、これは別府市の財産

として処分できますね。

そうしたときに、残について生活保護世帯とか、例えば子ども食堂、こういうところをですね優先的に配るといようなことも検討してほしいなと思うんですが、その2点、もし考えがあれば説明してください。

○市原産業政策課長

まず、1点目になります。本事業費は、6月補正で議決をいただきましたけども、2億4,000万円ぐらいの補正を組ませていただいて、お米の配布と券の配布をさせていただきました。

その中で、現物のお米代であったり、先ほどの券の単価もあるんですけども、そういうものを除いた上で、どれぐらいを事務費に充てられるかというところを計算する中で、本来確かに、委員の御指摘のとおり直接券を送るとか、お米を送ったほうが、市民の皆様からしたら御負担が少ないというふうには考えておったんですけども、事務費を削減するというところを見ると、どうしてもそれがなかなか難しく、普通郵便で送れる引換券を一旦送らせていただいて、ちょっと御負担であったんですけども、それぞれの指定する会場に取りに行っていたという経緯がございます。

市役所にも、委員から御指摘いただいた内容の問合せは幾つかあったんですけども、その際にお答えさせていただいた内容としましては、特に解決にはならないのかもしれませんが、今回はがきがあれば、どなたでも引換えが、代理人の方でもできるというふうにさせていただいてましたので、御家族の方、御近所の方もしくは、お知り合いの方とか、そういう方にお願ひできないかというふうなお願ひを、その都度させていただいたところではありますが、場合によっては取りに来れなかった方もいらっしゃるというふうには考えております。

今後、引き続きこういう事業をするときにはその部分も考えなくてはいけないかなと思ってるんですけども、どうしても事務費と補助事業のバランスを見ながらの事業の実施にはなるかとは考えております。

2点目につきましては、先ほど、答弁させていただいたんですけども、1,800万円ぐらいやっぱり残るとい可能性があるので、改めて今頂いた内容も含めて検討させていただきたいというふうに考えてます。

○泉委員

部長ね、せっかく対策としてやって、非常に喜ばれるであろうという事業なんですね。ところがさっき言ったように、課長は、親族とか、いろんな方に取りに行ってもらえばいいじゃないかということなんですけども、お1人で暮らしている方って別府の場合は相当多いんですよ。

そういう方にとってみると、この米をもらうために余分な負担をしてもお米を取りに行かなきゃいかん、こういう事態になってるんですね。

だから今後、このお米だけじゃなくていろんな対策ありますから、そういう部分をね、やっぱり十分配慮した上で、この施策というのをつくってほしいなと思ってます。これだけ要望しておきます。

○森山委員

券をなくした人、これはどのように対応してきた。

○市原産業政策課長

産業政策課のほうで再交付させていただいていますので、既に引換えしてるかどうかというのを見ながら、引換えをしてないというのが確認とれば再交付いたしております。

○森委員

今回第1弾、第2弾ともに大体1割ちょっとの方が引換え等には来ていないということで、その部分について、原因とかいうところは市としてはどういうふうな考えを持っているのか。

○市原産業政策課長

最終的にはまだこれから詳細を確認しなくてはいけないというふうには考えてはいるんですけど、現物については、1番多かった問合せの中で、お米に困ってないという世帯が一定程度ありました。その方々は、そもそもこの事業はどうかとおっしゃる方もいらっしゃいましたけれども、多くの方から困ってる方にぜひ渡してほしいというお電話を頂いてますので、お米についてはそういうところで認識しています。

お米券については、ここはまだちょっと途中ですので、終わったらまた詳細については検証

していきたいなというふうに考えています。

○小野委員

今回、お米だったら必要ないって言うとお米券をどなたかに差し上げた方が結構いらっしやいました。お米以外の商品も交換ができましたっていう情報を、ちまたで聞いてて、この店だったら、お米以外の商品を買えるっていうことが後々分かって、それだったらもう人にあげないで、換えたのについていう話を結構聞くことがあって、そういう情報も、その方はお米だけとっていたけれど、最終的にはお米以外でも使えますよ、ここいろいろ換えれますよっていうふうにお店の方に御案内されて、換えたっていう経緯があるので、そういうのも含めて、皆さんに情報発信を広くしてもらえればという声がたくさんありました。

○阿部委員長

当局でどうですか、お米以外の商品に換えることができる事業者を知ってるところがありますか。個別名は出さなくてもいいですけども。

○市原産業政策課長

そのお話は確かに聞いてはおりますけれども、課として、各事業者に対しては、そういう取扱いをしているかどうかという確認はしてはおりませんが、この事業を進める中で、店舗の皆さんにお願いしたことはお米の事業ですので、ぜひお米に使っていただきたいというふうに考えていますという、こちらの思いは伝えております。

○阿部委員長

今回、この米の事業を実施されたので、事業の詳細の捉え方はいろいろあるんですけど、泉委員もおっしゃいましたけど、もともとこの物価高騰対策というのは、お米の事業をやるための予算ではなく、別府市が物価高騰対策の予算の中でお米の配布等を決めた、その事業の中で高齢者の方もいらっしやるし、先ほど委員が言ったみたいに、いろんな商品に換えることができること。

元は、物価高騰対策で国債を発行して、配分される予算になりますので、どういう担当課がされるか分からないですけど、そこは事務的な部分の負担とのバランスを見なければいけません、職員さんは時間がない中で次の物価高騰対策を、やはり幅広く市民が恩恵を受けられるような政策の要綱づくりのところは詳細に行っていただきたいと思います。

○日置観光・産業部長

国からの経済対策ということで、交付金事業について、お話が出ておりますけどもその内容につきましては、大分県の12月補正がございまして、それと連動して市でも対策については、検討しているところでございます。

○阿部委員長

ぜひ、部の所管の政策が来たときには、幅広く市民の人が恩恵を享受できるような政策と要綱づくりをよろしく願います。

それでは、当委員会の所管でございまして、べっぷお米配布事業についての所管事務調査を終了いたします。

○閉議：11時55分